

中国一國幣加刷

かわさき てつお  
川崎 徹夫 (埼玉県) ⑤

1945年8月の終戦とともに中華民国政府は日本軍が占領していた地区を接収したが、そのご国民政府と共産党との内戦が始まり、戦費の急増と共に経済状態は安定性を欠き法幣の価値は日々下落し極度のインフレになったため郵便料金は何度も改定された。料金の値上げに伴って高額切手の必要から国幣加刷切手が登場した。これら加刷切手の使用期間は1945年9月17日から48年9月ごろまでで、そのご金円幣制に移した。この作品は国幣四珍と言われる希少な切手や発行数の少ない切手、銘版、変種、カバー等でまとめて展示しました。カバーの料金変遷によりインフレの推移が読み取れます。

**中国一國幣加刷切手**

1945年8月15日の終戦とともに中華民国政府(国府)は日本軍の占領地区の接收業務を行ったが、接收業務の接收は軍事輸送の困難で郵票、切手などをすべて一掃に没収することができます。各占領地区の切手を没収して再発行し、華北地区では法幣(国幣)に対し華北加刷切手を5対1の比率で換算し加刷版で短期間使用した。また同じく華中地区でも法幣(国幣)に対し20対1の比率で普通切手を加刷版でやはり短期間使用した。その際9月17日華中地区の普通切手は上海中華郵政管理局で緑色で「國幣四珍」と再加刷を行い使用した。

国民政府は日本の切手倉庫に大量の香港改切手の在庫を発見した。これは香港陥落直前に香港火災倉庫で印刷されていた切手で日本軍によって没収に陥られたもので、この時期、華北華中地区には重要かつ切手の供給がほとんどなかったために、在東の切手を混色又は赤色で「國幣四珍」と額面を加刷して使用した。

その後国民政府と共産党との内戦が激化し戦費の急増と共に経済状態は安定性を欠き政府債務は日に日に膨らんだため郵便料金は幾度も引き上げられた。そのために、高額切手の大量に必要となったが、正確な切手の供給が困難にすることが頻りにあったために、在東の各種切手の額面に従って各地の印刷局で「國幣四珍」或いは「改作四珍」と額面を加刷した切手を各局で販売し使用した。これが「國幣加刷切手」で、この切手の使用期間は1945年9月17日から48年9月ごろ(国幣時期)までで極度のインフレを打開するための48年8月19日から国幣300万円を金円1円としたが、インフレをくい金円幣制に移した。

本作品は國幣四珍と言われる希少な切手や発行数の少ない切手等を下記のように展示しました。

第1フレームの	2リフから4リフまでは中国占領地切手の使用例を、 5リフから9リフまでは再加刷の旧中国占領地切手を、 10リフから15リフの上海永寧(上銀)加刷切手を、 11リフの國幣四珍の一点、香港版四士、透かし有り、3.0円/1分切手を、
第2フレームの	17リフから第3フレームの38リフまで、上海永寧(下銀)加刷を、 19リフの香港版四士「改」字不通切手、 28リフの香港版四士切手「改」字不通を貼ったカバー、 28リフの中国版改文切手の計11の未使用切手を、
第3フレームの	35リフの郵政区別制度廃止通知を貼付したカバー 37リフから第4フレームの48リフまで、香港版四士、透かし有り、2.0円/5分切手を、 39リフの國幣四珍の一点、香港版改文、透かし無し、2.0円/5分切手を、 40リフの香港版四士、透かし有り、2.0円/5分切手を、
第4フレームの	49リフから第5フレームの58リフまで、重慶大加刷切手を、 51リフの國幣四珍の一点、香港版四士、透かし有り、2.0円/3分切手を、 57リフから第6フレームの64リフまで、上海大加刷切手と区加刷切手を、
第5フレームの	65リフから第7フレームの74リフまで、重慶大加刷切手を、 67リフの國幣四珍の一点、北京長城版3.0円/2.5分切手を、 75リフから80リフは法幣改定切手です。

作品は右の手順順に表装用、紙袋、封筒、使用例、エンタツア等でまとめて見ました。  
今回の作品はフレームの数を表装用紙袋のサイズを調整しました。

又、表示したエンタツアの料金変遷によって、国幣時期の激しいインフレの推移が読み取れます。  
エンタツアのデータを一覧で示していますが、紙袋の数字で民國年号を併記しています。

参考文献 國幣加刷及香港版 李碩平 著、中国の郵便料金(抄) 中国切手研究会訳、  
中国地名詳訳(支那地名集成) 外務省情報部編、中華郵政管理局 交通郵政總局編、

**中国一國幣加刷切手**  
上海永寧「國幣」加刷切手  
(下銀)

外国紙

追送郵便(快掛号)航空便、1946(35年) 9.24、天津(十四)法租界路、アメリカ、デラウェア州、  
封筒料金300円、追送郵便料金1100円、航空料金900円=5g、合計2300円。

24 郵便(快掛号)航空便、1946(35年) 12.19、上海(二十)徐家匯、スイス、チューリッヒ、  
封筒料金300円、追送郵便料金4500円、航空料金6500円=5g、米紙航空利用、合計14000円。

**中国一國幣加刷切手**  
上海永寧「國幣」加刷切手  
(下銀)

国内紙

内呈一件送江北悅來郷  
江北地方法院檢察處 啟

表面コピー80%

配達証明付郵便(取掛号)用、1947(36年) 5.28、東川(西川)上北、太平郷、一江北、悦来郷、  
封筒料金100円、配達証明付郵便料金500円、合計400円。

**中国一國幣加刷切手**  
重慶中央「國幣」加刷切手 46.7.26.~47.5.22.

香港中華版改文切手

原版 改版 緑 緑緑

加刷すれ 追加刷

香港大東版改文切手、透かし無し

緑空刷 緑実刷 緑緑実刷 緑 緑緑

追加刷

香港大東版改文切手、透かし有り

緑 緑緑